



令和4年1月19日(水)
国土交通省 関東地方整備局
川崎国道事務所

記者発表資料

「R3国道357号有明立体（山側）下部工事」の発注手続きを行います。併せて、『間接工事費実績変更方式』、『余裕期間制度（任意着手方式）』、『難工事指定』を試行します。

工事発注において入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きのとりやめが予測される工事について、不調不落対策を試行しています。

今回発注する「R3国道357号有明立体（山側）下部工事」については、『間接工事費実績変更方式』、『余裕期間制度（任意着手方式）』、『難工事指定』を試行します。

①『間接工事費実績変更方式』

「安全費」および「運搬費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）を変更する『間接工事費実績変更方式』を試行します。

②『余裕期間制度（任意着手方式）』

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

③『難工事指定』

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする『難工事指定』を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、
神奈川県政記者クラブ、川崎記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所 電話044-888-6411（代表）
副所長 宇津木 和弘（うつき かずひろ）
工務課長 高坂 祐一（こうさか ゆういち）

《 工事概要 》

- (1) 工 事 名：R3国道357号有明立体（山側）下部工事
- (2) 工事場所：東京都江東区有明地先
- (3) 工 期：工事の始期から340日間
(但し、令和4年4月1日までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：施工能力評価型Ⅱ型（総合評価落札方式） 施工体制確認型
- (5) 工事種別：一般土木工事 C+B
- (6) 工事内容（概要）：
 - 橋梁下部工 1式
 - 橋脚工 2基
 - 場所打ち杭工 18本
 - 仮設工 1式（工事用ヤード整備工、土留・仮締切工）

《間接工事費実績変更方式》

○実績により変更を行う工種

- ・ 共通仮設費（率分）のうち、「安全費」及び「運搬費」

○実績により変更を行う理由

本工事は、東京都23区内における自動車交通量の多い国道357号と首都高速道路の高架橋に挟まれた国道予定地内での施工です。

供用中の国道357号へ近接した施工のため、通過交通へ配慮した安全施設等の設置や夜間交通規制時においては、交通量の多い交差点に隣接しており、警察協議等により安全施設等の設置に要する費用が多大となることが想定されます。

また、施工箇所は交差点及び施工中の橋脚に挟まれた狭隘な箇所であることから、作業スペースの確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となることが想定されます。

このため、「安全費」及び「運搬費」において標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）について変更する『間接工事費実績変更方式』を試行します。

《余裕期間制度（任意着手方式）》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約日から工事着手期限日（令和4年4月1日）までの期間において、受注者が任意に工事着手日を選定できます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《難工事指定》

本工事は、施工箇所が狭隘な箇所であり、交通量の多い現道の交通規制を伴う作業があることから厳しい施工条件であるため、『難工事指定』を採用します。

『難工事指定』された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書交付：令和4年1月19日（水）
- 競争参加資格確認申請書及び資料の提出期限：令和4年1月26日（水）
- 入札書及び工事費内訳書の提出期限：令和4年2月21日（月）
- 開 札 日：令和4年2月25日（金）